

2023年 6月 9日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2022年度)

(2022年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	①単位互換の推進
事業部会名	教育活動連携事業部会
幹事校	淑徳大学
活動指標	千葉市内の高等教育機関の「教育の魅力」を高める。(取組 1)
取組の概要	<p>目標 (達成すべきゴールイメージ)</p> <p>プラットフォームで共同開発する授業科目の実施 2025 年度に計 2 科目)</p> <p>ちば産学官連携プラットフォーム参画校及び市内の国公立大学の学生が、地域の特性を活かした授業プログラムを通じて、共に学び、交流しながら、相互に学修成果を高めることができるような工夫を行うことで、千葉市内の高等教育機関の「教育の魅力」を高める。</p> <p>具体的内容</p> <p>単位互換推奨科目の設定と共同授業科目の開発</p> <p>①単位互換推奨科目に関する共通シラバスを作成し、WEB 上で公開する。</p> <p>②基盤教育・普遍教育の単位互換制度運用に向けた協議を行う。</p> <p>③フィールドワーク等での共同プログラムを開発するとともに、その学修成果をクラウドシステムで共有できる仕組みを検討する。</p> <p>④単位互換のためのプログラム開発や、共同利用できる施設・設備も検討する。</p> <p>⑤単位互換を利用して他大学の単位を履修する際、CAP 制に関する課題について部会で検討する。</p> <p>年次計画</p> <p>2022 年度 単位互換推奨科目： 4 5 科目、共同授業科目： 1 科目</p>

<p>進捗状況</p>	<p>1) 2022 年度には、177 科目の単位互換推奨科目と、共通シラバスを作成し、WEB 上で公開した。</p> <p>2) 基盤教育・普遍教育の単位互換制度運用に向けた協議は検討中である。</p> <p>3) 2022 年前学期、参画校の教員によるオンデマンド型授業やフィールドワーク等で構成される共同プログラム「まちづくり論 B (社会資源論 B)」を開発しているが、担当教員が異動となったため、次年度の開講は中止とした。また、その学修成果をクラウドシステムで共有できる仕組みは検討中である。</p> <p>4) 単位互換のためのプログラム開発や、共同利用できる施設・設備は各校設定済みである。</p> <p>5) 単位互換を利用して他大学の単位を履修する際、CAP 制に関する課題については検討中である。</p>
<p>点検・評価</p>	<p>取り組みの中核となる、単位互換推奨科目と共通シラバスの作成については、滞りなく進められる体制が出来ている点は評価できる。共同プログラムについては、対象科目の調整がつかず、2023 年度の開講を中止とした。</p> <p>共同プログラムも含めて、中長期計画にも記載のある「②基盤教育・普遍教育の単位互換制度運用に向けた協議を行う。」、「③その学修成果をクラウドシステムで共有できる仕組みを検討する。」、「⑤単位互換を利用して他大学の単位を履修する際、CAP 制に関する課題について部会で検討する。」について、今後検討していく必要があるが、教育部会の担当者レベルではハードルが高いものとなっている。</p> <p>各大学の教務や事務長レベルの職員を巻き込み、専門の WG や部会を立ち上げることも含めて、議論の必要がある。</p>

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2022年度)

(2022年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	②共同 IR 体制の構築と推進
事業部会名	教育活動連携事業部会
幹事校	淑徳大学
活動指標	「教育の魅力」の向上（取組2）
取組の概要	<p>目標（達成すべきゴールイメージ）</p> <p>千葉市内の高等教育の課題を明らかにするために、共同 I R（学生調査等）を実施する。調査結果に基づき、ちば産学官連携プラットフォーム参画校が共同し、連携しながら、千葉市内の高等教育の課題を解決することを目指す。</p> <p>具体的内容</p> <p>ちば産学官連携プラットフォーム参画校の I R 担当者による意見交換、各校に共通項目の調査を行うことで、共同 I R 体制の構築を行う。また、毎年度共同調査を実施し、結果を経年観測する。</p> <p>共同調査の結果は、ちば産学官連携プラットフォーム運営委員会に報告し、プラットフォーム事業計画の実施、評価及び計画策定に活用する。</p> <p>年次計画</p> <p>2022年度 ①学生意識調査の実施、②卒業時の学生満足度調査の実施</p>
進捗状況	<p>①2023年4月～5月の調査期間で、ちば産学官連携プラットフォーム参画校の学生意識調査アンケート実施に向けて調整を行い、4月現在、調査中である。千葉市と連携して、市が進める「千葉開府900年事業」についての設問もアンケートに盛り込んだ。</p> <p>②ちば産学官連携プラットフォーム参画校の2022年度の卒業生を対象に、学生満足度調査を依頼して、4月現在、結果を集計中である。卒業時調査を</p>

	<p>実施していない大学は、教育部会作成の設問フォーマット（Google フォーム）を使用して、卒業時調査を実施している大学は、調査の重複がないように、調査結果の提供を依頼した。</p>
点検・評価	<p>年次計画にある、「①学生意識調査の実施」、「②卒業時の学生満足度調査の実施」を予定通り行った点は評価できる。毎年、調査内容をバージョンアップしながら、継続的に調査を実施して、学生の回答率をあげていく必要がある。</p>

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2022年度)

(2022年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	③産学官・地域連携教育の検討
事業部会名	教育活動連携事業部会
幹事校	淑徳大学
活動指標	千葉市内の高等教育機関の「教育の魅力」を高める。(取組 1)
取組の概要	<p>目標 (達成すべきゴールイメージ)</p> <p>産学官連携やアカデミックリンク活動を通じた学修機会の提供 ちば産学官連携プラットフォーム参画校及び市内の国公立大学の学生が、産学連携事業やアカデミックリンクの活動を通じて、共に学び、交流しながら、相互に学修成果を高めることができるような工夫を行うことで、千葉市内の高等教育機関の「教育の魅力」を高める。</p> <p>具体的内容</p> <p>産学官連携事業やアカデミックリンク活動の開発と実施 (2025 年度に計 8 事業)</p> <p>①「千葉市こども若者市役所」の取り組みや、千葉県立生浜高等学校との連携を通じて、高大連携や学生の交流を進めるとともに、大学・短大の施設を地域の拠点としながら、地域や産学官連携活動を推進する。</p> <p>②社会人のセカンドキャリア形成支援のためのプログラム「IT スキルリカレント講座」を開講する。</p> <p>③産学官地域連携教育を推進するための FD・SD 研修会を開催する。</p> <p>④地域における教育活動支援として「市内高等学校への福祉的支援の在り方に関する検討委員会」を推進する。</p> <p>⑤千葉公園エリアマネジメント検討委員を通じて、ちば産学官連携プラットフォームに参加する大学・短期大学の学生の交流機会として、交流イベントをはじめ、研究・活動報告会を開催する。</p>

	<p>⑥IoT、情報技術等を活用した学修を共同で行う仕組みを構築できるよう、オンライン授業・遠隔授業サポート WG を通じて、産業界と協議を行い、実施する。</p> <p>年次計画</p> <p>2022 年度 6 事業</p>
<p>進捗状況</p>	<p>①IoT、情報技術等を活用した学修については、新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴い、具体的なプログラムの実施にあたり、産業界との協議が進んでおらず、実施できていない。</p> <p>②「千葉県子ども若者市役所」では、延べ人数 245 名が参加した。(12 回のワークショップと 1 回の子ども夏休み教室、計 13 回の活動)</p> <p>本取組を通じて、高大連携や学生の交流を進めるとともに、大学・短大の施設を地域の拠点としながら、地域や産学官連携活動の協議を進めている。</p> <p>③ちば産学官連携プラットフォームに参加する大学・短期大学の学生の交流機会として、研究・活動報告会は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかった。</p> <p>④社会人のセカンドキャリア形成支援のためのプログラム、「ICT スキル講座：「ちば ICT 人材認証プログラム」「児童福祉に関わるブラッシュアップセミナー」「語学セミナー」を計 3 本開講した。</p> <p>⑤産学官地域連携教育を推進するための FD・SD 研修会を 4 回開催した。</p>
<p>点検・評価</p>	<p>2022 年度に設定した「取組の概要」は、半数以上実施したことは、評価できる。</p> <p>中長期計画にも記載のある「①IoT、情報技術等を活用した学修を共同で行う仕組みを構築できるよう、産業界と協議を行い、実施する。」については、2023 年度、脱コロナの状況を見極めながら、議論を進めていく。</p>

2023年6月9日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2022年度)

(2022年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	PF 参加大学・短期大学合同進学説明会
事業部会名	学生募集連携事業部会
幹事校	千葉明德短期大学
活動指標	「学生募集力」の向上 (取組1)
取組の概要	プラットフォームに参加している千葉市内の大学・短大が参加。各校のブースを設置し、個別相談に対応する。参加者は、高校生・保護者等を想定。とくに、千葉市内の大学・短期大学の魅力を知ってもらい、学生募集力の向上につなげていく。
進捗状況	<ul style="list-style-type: none">・2022年3月16日(水)に敬愛学園高校において合同進学ガイダンスを実施。・2022年4月26日(火)にちば産学官連携プラットフォームとして各ブースを設置し幕張メッセ会場のガイダンスを実施。・2022年5月9日(月)にTKPガーデンシティ千葉において桜林高校の合同進学ガイダンスを実施。・2022年11月9日(水)に千葉黎明高校において合同進学ガイダンスを実施。・2023年3月29日(水)に千葉経済大学・千葉経済大学短期大学部において「いろんな大学短期大学を知ろう!ちば産学官連携プラットフォーム合同オープンキャンパス」を開催。高校1年生・2年生の参加者19名、全体参加者26名。(内、保護者7名)同時開催としてプラットフォーム参加校による個別相談会も実施。

点検・評価	中期計画どおり進捗している。進学ガイダンスの実施回数は昨年度より増加。ガイダンスの種類についても単なる学校説明・進学ガイダンスだけではなく、プラットフォーム合同オープンキャンパスも実施することができた。動員数を増やすことが課題。模擬授業を中心としたイベントだと、各学校の負担が大きく動きにスピード感を出すことが難しいため、内容を部会で再検討していきたい。チラシの作成を早め、周知する期間を増やす等改善が必要。
-------	--

2023年6月9日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2022年度)

(2022年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	PF 参加大学・短期大学合同高校訪問
事業部会名	学生募集連携事業部会
幹事校	千葉明德短期大学
活動指標	「学生募集力」の向上（取組2）
取組の概要	学生募集連携事業部会の担当者を中心に千葉市内の高校において共同での高校訪問を実施。各高校とプラットフォーム各大学・短期大学とのさらなる高大連携や教育政策の促進について意見交換を行うことを目的に実施する。
進捗状況	<ul style="list-style-type: none">・2022年8月31日(月)に桜林高校へ合同高校訪問を実施。プラットフォーム加盟校の7校が参加。3部制で各学校から学校案内等や意見交換等を行った。 第1部：各大学・短期大学から学校案内等・「学校案内」「入学試験要項」を配布し、各学校の入試情報やオープンキャンパス情報の共有。・コロナ禍での入学試験等の対応について等第2部：桜林高校進路指導部から各大学・短期大学へ質問<ul style="list-style-type: none">・調査書の内容（加点等について）・指定校について（推薦人数の追加依頼等）第3部：各大学・短期大学から桜林高校進路指導部へ質問・2022年10月19日（水）に千葉聖心高校へ合同高校訪問を実施。プラットフォーム加盟校の7校が参加。3部制で各学校から学校案内等や意見交換等を行った。第1部：各大学・短期大学から学校案内等・「学校案内」「入学試験要項」を配布し、各学校の入試情報やオープンキャン

	<p>パス情報の共有。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での入学試験等の対応について <p>第2部：千葉聖心高校進路指導部から各大学・短期大学へ質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査書の内容（加点等について） ・指定校について（推薦人数の追加依頼等） ・看護、医療系を志望する高校生に対して進学サポートはあるか（出張ガイダンスや、模擬授業に実施等） ・プレゼンテーションの試験対策について（評価基準・指導方法等） <p>第3部：各大学・短期大学から桜林高校進路指導部へ質問</p>
<p>点検・評価</p>	<p>中期計画どおり進捗している。学生募集環境がさらに厳しくなることが予想されるため、2023年度は実施済みである桜林高校、千葉聖心高校との関係強化はもちろん、さらに千葉市内の別の高校へも規模を拡大し、学生募集力を高めることを目指していく。</p>

2023年6月9日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2022年度)

(2022年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	県内企業参加 合同会社説明会 区分 A(合同会社説明会)
事業部会名	就職支援連携事業部会
幹事校	神田外語大学
活動指標	ビジョン③千葉市内・県内に所在する「地元企業への就職率」向上
取組の概要	【合同会社説明会の開催】 2022年6月4日(土) 13:00~16:30に神田外語大学3号館各教室においてちば産学官連携プラットフォーム加盟大学及び県内大学に所属する2023年3月卒業予定学生を対象に対面形式で30分の会社説明会を計6回開催を開催いたしました。
進捗状況	当日は13社(総合警備保障/広域高速ネット二九六/コミュニティー京成/スズキ自販千葉/ちばぎん証券/千葉トヨタ自動車/千葉日産自動車/日産プリンス千葉販売/千葉マツダグループ/千葉薬品/千葉窯業/ティーエスケー/トヨタカローラ千葉/福井電機)が参加し、実施。当日生は10大学29名の学生が参加いたしました。
点検・評価	A 新型コロナ禍の中で対面開催は必要性はあるものの、中止等のリスクもある中、実施することが出来、学生と企業に対面での合同企業説明会の機会を提供することが出来ました。

2023年6月9日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2022年度)

(2022年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	合同インターンシップ【ちば仕事研究塾 2022】
事業部会名	就職支援連携事業部会
幹事校	神田外語大学
活動指標	ビジョン③千葉市内・県内に所在する「地元企業への就職率」向上 (KPI: 合同就職セミナーのうちの1件としてカウント)
取組の概要	【ちば仕事塾 2022 の開催】テーマを「ちばの食資源と食文化、そして観光資源の魅力 2022」と題し、2022年9月2日(金)10:00~16:30にオンライン(Zoom)形式で実施。対象を県内大学在籍大学生(1~4年生)及び短期大学生(1~2年生)と拡げ実施した。参加企業はピーターパン/ホテル日航成田/ちば南房総の3社。各社による1者90分のセミナーを開催した。
進捗状況	当日の参加学生は11大学70名、大学教職員は6大学7名の参加となりました。プラットフォームが定める指標を達成しております。終了後はアンケートを実施し31名から回答を得ました。回答では【ちば仕事研究塾 2022】の満足度は大変満足14件/A2.満足14件/普通3件と概ね満足度の高いセミナーの開催となりました。
点検・評価	A 本件は2021年度に続いての実施となりましたが、大学生向けのイベントは一般的に学生動員が難しい中、本イベントはちば産学官連携プラットフォーム加盟大学を中心に幅広く学生に参加してもらい、満足度が高く学習効果の高い事業として実施出来ています。

2023年6月9日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2022年度)

(2022年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	千葉県内の企業採用担当者と千葉県内の大学生(1~4年)との合同交流会
事業部会名	就職支援連携事業部会
幹事校	神田外語大学
活動指標	ビジョン③千葉市内・県内に所在する「地元企業への就職率」向上 (KPI: 合同就職セミナーのうちの1件としてカウント)
取組の概要	【顔と名前を出さない WEB 相談会】というタイトルで(1)企業の採用担当者(2)企業で働く卒業生(3)県内大学の在学生によるオンライン交流会を実施いたしました。2022年度は(第1回目)2022年7月21日(木)/(第2回目)2022年10月14日(金)/(第3回目)2023年1月20日(金)の計3回実施をしております。
進捗状況	1回目は2022年7月21日(木)に実施、三協リール/千葉トヨペットの2社が参加。参加学生は3大学、5名が参加。2回は2022年10月14日(金)卒業生1名、学生5大学10名参加。3回目は2023年1月20日(金)千葉スバル/新栄/学生5大学15名が参加して実施いたしました。
点検・評価	A 2022年度の新しい事業。オンラインの特徴を活かし、学生が気軽に企業の採用担当者や卒業生に相談出来る機会を創出しました。年度内3回の事業実施で活動指標に繋がる成果が出たと考えています。

2023年6月9日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2022年度)

(2022年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	千葉県内の外国人社員と留学生との交流会
事業部会名	就職支援連携事業部会
幹事校	神田外語大学
活動指標	ビジョン③千葉市内・県内に所在する「地元企業への就職率」向上 (KPI: 合同就職セミナーのうちの1件としてカウント)
取組の概要	2023年2月に実施予定。留学生の日本、特に千葉市内、千葉県内での就職支援のために実施する。千葉市内、千葉県内で外国人留学生の採用活動を行っている企業の紹介などの他、千葉県内の企業に勤務している外国人社員と留学生との交流会を行い、外国人の県内企業への就職を推進していく。
進捗状況	新型コロナ禍の中で就職支援連携事業部会加盟大学の留学生在籍者数が大幅に減少していることが判明したこともあり、2023年度は事業の実施を見送りました。
点検・評価	C 本件は加盟大学に新型コロナウイルスの影響で留学生がほとんど在籍していないこともあり、やむなく見送りとしましたが、2023年度以降、留学生の在籍状況を見て再開時期を探りたいと思います。

2023年6月9日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2022年度)

(2022年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	千葉県 29 大学合同就活応援セミナー ※千葉県 27 大学合同企業説明会と名称変更
事業部会名	就職支援連携事業部会
幹事校	神田外語大学
活動指標	ビジョン③千葉市内・県内に所在する「地元企業への就職率」向上 (KPI：合同就職セミナーのうちの1件としてカウント)
取組の概要	【千葉県 27 大学合同企業説明会】2023年3月4日(土)幕張メッセ国際会議場において70企業・団体が参加し、合同企業説明会を開催いたしました。本件は千葉県大学就職指導会主催の【千葉県 27 大学合同企業説明会】への協力という形での事業実施としております。
進捗状況	同日は70社・団体の企業が参加、千葉県内の大学関係者は就職支援連携事業部会の6大学短大の関係者を含む25大学47名が参加いたしました。参加学生数は287名、うち千葉県大学就職指導会(27大学)の参加学生数は280名です。県内大学生の県内就職の機会創出に繋がりました。
点検・評価	A 本事業の主な対象者は2024年3月学生、現在採用活動の早期化の流れがあり、3月開催の場合、学生参加者数が減少する中、事前告知を増やすなどの取組により一定数の動員を図ることが出来ました。

2023年6月9日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2022年度)

(2022年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	①「ちば学」リレー講座(重点課題)
事業部会名	生涯学習連携事業部会
幹事校	敬愛大学
活動指標	4.「他世代の学び」の機会の提供(取組2) 共同で運営する社会人向け講座(ちば学)を開催する。
取組の概要	当PF各参加校から1名ずつ教職員の派遣を受け、千葉(市)に関する様々な分野の講座をリレー講座として市民に提供する。 講座数としては10講座程度(月1回程度、土曜日午後)を想定する。
進捗状況	年間11回の「ちば学リレー講座」を企画・実施した。新型コロナウイルスの感染拡大は徐々に沈静化してきたが、外出しての受講に慎重な方も増えていることから、のべ受講生数(オンデマンド受講者を含む)は149名(前年度256名)となった。 昨年度に続き、包括連携協定を締結する千葉市からも講師を招くとともに、千葉市生涯学習センターとの共催も実現した。
点検・評価	本講座は4ヶ年間の実績を重ね、市民の学びの意欲を促す講座を提供できるようになった。2023年度講座は、各参画校や千葉市、千葉商工会議所、千葉市生涯学習センターとも連携して計11講座を用意し、講座の魅力の発信と内容の充実引き続き努める。

2023年6月9日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2022年度)

(2022年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	①「ちば学」リレー講座(重点課題)
事業部会名	生涯学習連携事業部会
幹事校	敬愛大学
活動指標	4.「他世代の学び」の機会の提供(取組1) 共同で企画する公開講座・生涯学習講座等を開催する。
取組の概要	当PF参加校が独自に企画する講座等について、 ●当PF共催講座の設定を促進する ●当PF参加大学等から、各校の主催する講座に教職員の派遣を促進する。 これらの事業遂行のため、各大学・短期大学の講座担当者との連絡強化を図る。
進捗状況	共同で企画する講座は、3講座が敬愛大学との間で企画されたが、受講申込少数のため閉講となり、実現しなかった。 2023年度は対面による公開講座を再開する参画校が増えているので、後期の実現に向けて、部会での検討を進める。
点検・評価	未達成

2023年6月9日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2022年度)

(2022年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	③千葉市民の自主的な学び促進事業
事業部会名	生涯学習連携事業部会
幹事校	敬愛大学
活動指標	4.「他世代の学び」の機会の提供(取組1) 共同で企画する公開講座・生涯学習講座等を開催する。
取組の概要	千葉市内の公民館および生涯学習センターにおける千葉市民の自主的な学びを促進するため、千葉市教育委員会および千葉市教育振興財団と連携して、当PF参加校から人材の紹介・派遣(マッチング)を仲立ちする。
進捗状況	以下の講師マッチングが実現した。 ▶7/11 水口章先生(敬愛大学) 葛城公民館 ▶8/19 齊藤訓英先生(帝京平成大学) 若松公民館 ▶9/17 馬場宏輝先生(帝京平成大学) 千葉敬愛短期大学 ▶1/20・27、2/17・24 鶴岡公幸先生(神田外語大学) 葛城公民館 ▶2/27 前田仁士先生(植草学園大学) 葛城公民館
点検・評価	マッチングが5件となり、また2023年度の講師マッチング依頼も成立したものが複数あり、拡大の兆候は感じられる。 まだ周知不足の感もあり、特定の公民館が制度を活用している傾向が強いため、引き続き公民館事業者への周知を継続し、市内6区での実現を期す。

2023年6月9日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2022年度)

(2022年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	④防災講話の実施
事業部会名	生涯学習連携事業部会
幹事校	敬愛大学
活動指標	5.地域の課題解決力の向上(取組1)
取組の概要	千葉市の町内自治会や避難所運営委員会、公民館などの活性化に資するため、防災講話への講師を派遣する。ちば産学官連携プラットフォーム中長期計画に基づき、年間4回の派遣をめざす。 内容としては体験型訓練(心肺蘇生法、AED、消火訓練)や防災に関する講演とする。
進捗状況	以下の講師派遣が実現した。 ・小中台公民館(帝京平成大学:山口誠先生) ・稲毛区ボランティアセンター(帝京平成大学:山村美恵子先生、敬愛大学:藤森センター長)
点検・評価	昨今の自然災害の増加・激甚化を受けて、講師派遣が2件3名となったことは、有意義であったといえる。引き続き千葉市の関係部署(危機管理監、危機対策課、市民自治推進課等)と協力して派遣先の拡大に努め、引き続き地域に必要とされる防災に関する知識・情報の提供を進めていく。

2023年6月9日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2022年度)

(2022年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	千葉市内に所在する短期大学が連携することで、産学官連携に関する協力体制、共通問題の認識や情報交換、産・官・4年制大学との連携強化を図る。
事業部会名	短期大学連携ワーキンググループ
幹事校	千葉経済大学・千葉経済大学短期大学部
活動指標	所属4短大の連携強化 プラットフォーム事業への積極的参加
取組の概要	プラットフォーム事業における短大としてのかかわり方、共通問題認識のための情報交換会の開催 短大在学学生をプラットフォーム事業に参加促進する方策や協力体制の検討 各短大の特色を生かした支援の検討 新規参入予定の短期大学に対しての情報交換や調整 「短期大学部会」設置に向けた検討
進捗状況	不定期ではあるが、メールにより何度か意見交換を行った。コロナ禍でもあり、各校での学内行事のコロナ対応などの情報交換を行った。 また、他部会の活動支援が中心となりつつある。
点検・評価	<ul style="list-style-type: none">・「短大として」の枠に捉われ、新規事業を立ち上げるには至っていないところは昨年度とほぼ同じ状況なので、継続して検討と考えている。・一方で意見交換の場としてはWGを継続していくことと、他の部会との兼任をしている委員もいるので、他部会への支援も引き続き行う所存である。(例: 8月に植草学園大学・短期大学において就職関連イベント「公務員コラボレーション講座」を実施。ZOOMにより他大学の学生も参加できるようセッティングした。)

2023年6月9日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2022年度)

(2022年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	子育て支援の連携強化
事業部会名	こども子育て支援連携ワーキンググループ
幹事校	植草学園大学・植草学園短期大学
活動指標	参画校の子育て支援連携会議実施 年4回(取組1)
取組の概要	<ul style="list-style-type: none">・連携強化のための調査・研究、子育て支援の必要性の掘り起こし及び必要な支援活動の形態を検討する。・ちば産学官連携プラットフォーム参画校の子育て支援の連携を図る。
進捗状況	子育て支援連携会議を6月・9月・11月・2月の計4回実施。 参画校の子育て支援施設において、年度当初から徐々に利用人数を制限しての活動が始まり、都度感染拡大状況を鑑みながら活動し、年度末時点では概ね本格的な稼働ができてきている状況である。会議では、参画校の子育て支援の現状報告及び情報交換が行われた。
点検・評価	子育て支援連携会議(Zoomで開催)を計4回実施し、子育て支援の情報交換を行う中で連携を図ることができた。調査・研究、子育て支援の必要性の掘り起こし及び必要な支援活動の形態については、次年度検討していきたい。

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書（2022年度）

(2022年度プロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	子育て支援共同講座の開設・運営 「ちばこども子育てすぽっと」YouTubeチャンネルでの配信
事業部会名	こども子育て支援連携ワーキンググループ
幹事校	植草学園大学・植草学園短期大学
活動指標	子育て講座の共同実施 年6回（取組2）
取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期から学童期を通じたこどもの発達に伴う親としての成長を支えるため、共同講座の開設・運営について検討する。 ・乳幼児期の親向けの講座（年5回・計6講座開催） 講座テーマ「乳幼児期から学童期の子育て支援について」
進捗状況	<p>①「水や自然を楽しむ15のあそび」千葉明德短期大学 子育て支援プロジェクトチーム（8月）</p> <p>②-1「親子でかんたん！手作りパズルの作り方」植草学園大学子育て支援プロジェクトチーム 発達教育学部 准教授 實川慎子（10月）</p> <p>②-2「親子でかんたん！子どもの質問には遊びで応えよう～パンパンカーおもちゃ作り」 発達教育学部 教授 栗原ひとみ（10月）</p> <p>③「幼稚園と保育所の違いは何？」千葉経済大学短期大学部 小倉定枝教授（10月）</p> <p>④「子育ての中での ならない練習」千葉敬愛短期大学 教授 吉村真理子他（1月）</p> <p>⑤「食と子どもと遊び」植草学園短期大学 教授 久留島太郎（2月）</p> <p>※上記講座を、子育て支援施設への来所者を対象としても放映</p>
点検・評価	<p>対面形式に変わるYouTubeチャンネル「ちばこども子育てすぽっと」によるオンデマンドでの子育て講座を合計6講座開講することができた。各講座へのアクセス数は①114回 ②-1 62回 ②-2 181回 ③171回 ④68回 ⑤ 41回 累計637回となっている。（2023年5月8日現在）</p> <p>※今年度はさらに、子育て支援施設に来所した親子も視聴できる機会を設けることができた。</p>

2023年6月9日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2022年度)

(2022年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	FD・SD研修会
事業部会名	オンライン授業・遠隔授業サポートワーキンググループ
幹事校	帝京平成大学
活動指標	オンライン授業・遠隔授業に関わる教職員や学生の支援を検討する。
取組の概要	ICTを用いた同時双方向型の遠隔授業（オンライン授業）に関することをテーマとした共同のFD又はSDの実施
進捗状況	2022年9月21日に敬愛大学（稲毛キャンパス）において、Microsoft Teamsの「チーム」「チャット」「メッセージ」「チャンネル」「ビデオ会議」機能と情報モラル・倫理として、Microsoftで利用されているセキュリティー対策が紹介され、授業内容と方法の改善が図られた。（オンデマンド配信期間：9月30日～10月31日） 総括質疑では、ファイルの共有方法についての質問やセキュリティー対策にある多要素認証の安全性と利便性についての意見があった。
点検・評価	オンラインを活用した遠隔授業のノウハウに関するFD・SD研修会を開催することができた。 今後は、オンライン授業で蓄積したノウハウを対面授業で活用する方法等を検討していく。

2023年6月9日

ちば産学官連携プラットフォーム事業 点検・評価報告書 (2022年度)

(2022年度のプロジェクトの進捗状況、評価等について、記入してください。)

事業計画名	千葉県「大賀ハス開花70周年記念事業」への参画 (プラットフォームが設置する、自治体・産業界等が参加する会議体)
事業部会名	大賀ハス開花70周年記念事業ワーキンググループ
幹事校	千葉経済大学・千葉経済大学短期大学部
活動指標	
取組の概要	<p>① プラットフォームに参画する学生が主体となって、「大賀ハス開花70周年記念事業実行委員会」と連携を図りつつ、若年世代間での「大賀ハス開花70周年記念事業」の機運を醸成する活動を展開する。</p> <p>② 市内の大学・短大に在学する、もしくは市内在住の若年世代を対象に千葉市の都市アイデンティティのひとつである「大賀ハス」の普及と啓発を行う。</p>
進捗状況	<p>2021年10月に千葉県・千葉商工会議所が参加する形でワーキンググループを設置し、2023年3月まで以下の活動を行った。</p> <p>① 千葉市の「大賀ハス開花70周年記念事業実行委員会」に参加し、連携を図った(2023年3月まで)。</p> <p>② ワーキンググループの事業として、参画校の学生を主体した「ちば産学官連携プラットフォーム 大賀ハス開花70周年記念学生ワークショップ」を企画・実施した。 (2022年2月～7月の計5回、対面・オンライン併用のハイブリッド方式で実施され、延べ82名の大学生・短大生が参加した。)</p> <p>③ ワークショップに参加した学生から学生企画「ぬり絵で参加 70周年記念モザイクアート」が発案され、2022年6月の「大賀ハスマつり(千葉公園)」等で集めたぬり絵の画像データをもとに、フォトモザイクアートの製作・展示を行った。 (2022年11月の「ちはなちゃんお誕生会(千葉公園)」と、11月中旬から12月上旬までJR千葉駅改札内(ペリエ千葉)にて展示を行った。)</p>

<p>点検・評価</p>	<p>プラットフォームとして、テーマに基づく自治体・産業界が参加するワーキンググループの設置は、今回が初めてであった。</p> <p>ワーキンググループの事業については、大賀ハス開花 70 周年記念事業「認証事業」として、大賀ハス開花 70 周年記念事業実行委員会から助成金が交付され、実行委員会が制作した「記念誌」に事業内容が掲載された。</p> <p>また、「モザイクアート」の展示については、JR 千葉駅改札内での展示が実現し、株式会社千葉ステーションビル（ペリエ千葉）と千葉市からプレスリリースが発行され、千葉日報に記事が掲載された。</p> <p>活動の成果を通して、産学官連携の取組みを広く周知できたことは、意義があったといえる。</p> <p>以上のことから、「取組の概要」に記載された目的は達成されたものと評価できる。</p>
--------------	---